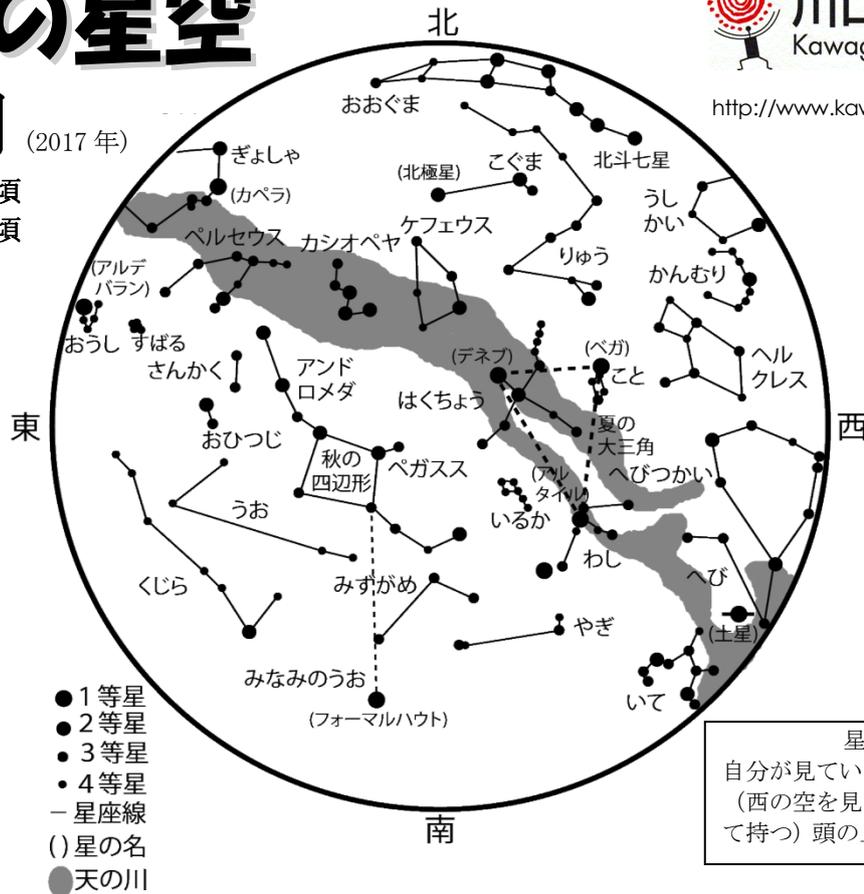


今月の星空

10月 (2017年)

上旬 21 時頃
下旬 20 時頃



月 齢 ○ 満月 6 日、● 下弦 12 日、● 新月 20 日、● 上弦 28 日
惑星情報 金星 明け方 東 (しし座 → おとめ座 -4 等級)
火星 明け方 東 (しし座 → おとめ座 2 等級)
土星 夕方 南西 (へびつかい座 → いて座 0 → 1 等級)

★ みなみのうお座の 1 等星フォーマルハウト

秋の星座は明るい星が少なく、少し寂しい感じがします。その中で唯一の 1 等星が、みなみのうお座のフォーマルハウトです。近くに目立った星がないことから、この星は「秋のひとつ星」または「南のひとつ星」とも呼ばれます。フォーマルハウトの名前は、アラビア語の「フム・アル・フート」(魚の口) という意味) に由来し、その名の通り、みなみのうお座の口の位置にあります。

この星は年齢が 4 億歳と太陽系のおよそ 1/10 の年齢しかない若い星で、周囲には塵 (ちり) とガスでできた環が存在することが分かっています。南米のチリにあるアルマ望遠鏡を使った観測から、この環はフォーマルハウトを回る彗星同士が衝突して作られたと考えられています。

★ 「中秋の名月」(10月4日) と「後の名月」(11月1日)

10月4日は旧暦8月15日にあたり、お月見が行われます。この日に見られる月を「中秋の名月」、地方によっては里芋を供えることから「芋名月」と呼びます。また、旧暦9月13日にあたる11月1日に見られる月を「後(のち)の名月」といいます。江戸時代には「中秋の名月」を見たら、「後の名月」も同じ場所で見るとされていました。晴れていたら、ぜひ両方のお月見をお楽しみください。科学館では10月4日と11月1日に特別観測会が予定されています。

2017年	旧 暦	月の呼び名	お供え物
10月4日	8月15日(十五夜)	中秋の名月、芋名月	里芋
11月1日	9月13日(十三夜)	後の名月、栗名月、豆名月	栗、大豆

★ 満月とは限らない「中秋の名月」

「中秋の名月」は旧暦8月15日の月だと述べました。旧暦は月の満ち欠けで決められていて、新月の日を1日とします。新月から次の新月まではおよそ30日なので、旧暦の15日は満月になりそうです。実際には、月の軌道はゆがんでいて、動きが一定でないため、満月になる日は旧暦の15日から1、2日ほどずれることがあります。今年は「中秋の名月」の2日後、10月6日が満月です。